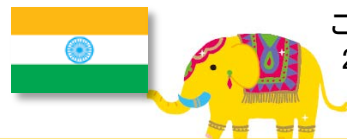


ラジャン総裁の手腕に期待



2013年9月、ラグラム・ラジャン氏が50歳という歴代2番目の若さで、インド準備銀行（中央銀行）の総裁に就任しました。

歴代総裁に官僚出身者が多い中、ラジャン氏は、IMF（国際通貨基金）のチーフエコノミスト、シカゴ大学教授を務めた経験があり、リーマン・ショックの3年前に金融危機の可能性を予言したことで知られています。

ラジャン氏は総裁指名から正式就任までの1ヵ月程で問題点を把握し、具体的な金融市場対策を発表しました。また、総裁就任直後には諮問委員会を設立し、諮問委員会が「インフレ目標の導入」や「金融政策委員会の創設」を提言しました。

インフレ目標は既に導入しており、また現在中央銀行総裁が単独で決定できる金融政策についても、「金融政策委員会の創設」が実現すれば、透明性の向上が期待されます。

ラジャン総裁の具体的かつスピード感のあるリーダーシップが伺え、今後の手腕に更なる期待が集まっています。

人柄の良さも知られています！

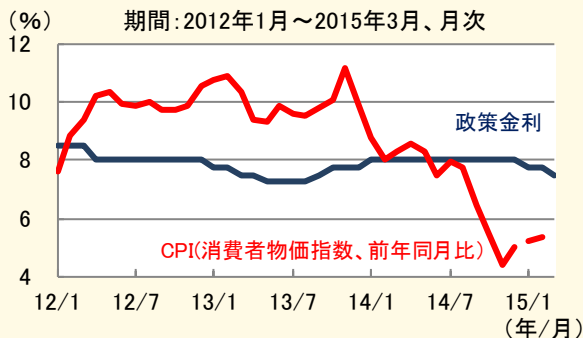


Raghuram Rajan

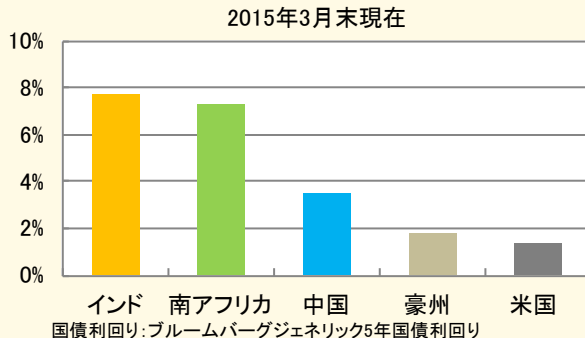
英Central Banking Publications社の“Central Banking Awards for 2015”で、ラジャン総裁が**総裁賞**を受賞しました！

■ 政策金利とインフレ率の推移

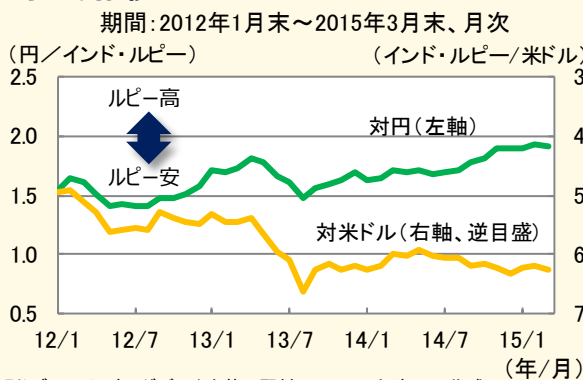
CPIは2015年2月まで。
2014年12月までは旧基準のデータ。



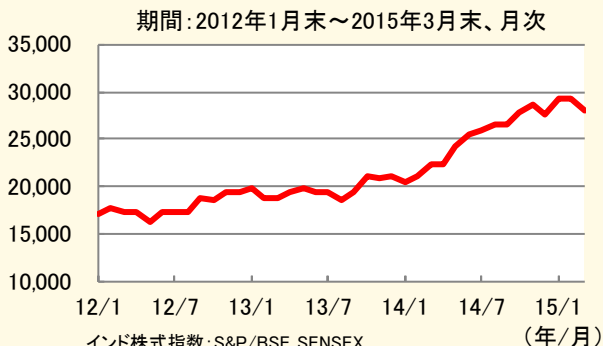
■ 各国の国債利回り比較



■ 為替の推移



■ インド株式指数の推移



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。